

平成 26 年 11 月度 定例観察会報告書

六甲山自然案内人の会

1. 概要

実施日：平成 26 年 11 月 9 日（日）10:00～14:35

天 候：小雨～時折本降り～小雨のあいにくの雨天

担当班：3 班

テーマ：心経岩周辺の秋色散策

見 所：都会の直ぐそばで静かな秋の気配を感じながら、一般の観光コースから外れた深山の趣のある心経岩周辺を散策して秋の花や木の実を楽しむ自然観察を行う。

参加者：ビジター 2 名 会員 21 名 合計 23 名

コース：六甲ケーブル山上駅⇒オルゴールミュージアム前⇒心経岩⇒ガーデンテラス⇒六甲ケーブル山上駅

配布資料：コース案内文入りの手作りパンフレット

説明担当：ビジター対応—1 班佐藤・大坂 2 班中島・打田 3 班久保・田中 4 班（予備）品川・龍田
会員対応—松本

以上の準備をしていたが、あいにくの雨天で参加者が少なかったため、急きょビジター対応は大坂・打田・田中の 3 名で行うこととする。

2. 植物観察記録

下見の時に比べ咲いている花は少なくなっていたが、ハキダメギク・キツリフネ・ナギナタコウジュ・ヨシノアザミ・アキチョウジ・リンドウ・オニノゲシ・ワレモコウの花が観察できた。

そしてイロハモミジ・コシアブラ・オオモミジ・ウリハダカエデ・コハウチワカエデ・ホツツジの紅葉は美しく、なんといってもアキグミ・ウメモドキ・サルトリイバラ・ツルウメモドキ・ツルリンドウ・ヒヨドリジョウゴ・ウラジロノキ・オトコヨウゾメ・アオハダ・コバノガマズミ・マユミ・ヤマホロシの赤い実、ムベのピンクの実、イヌツゲ・シロヤマブキ・スイカズラの黒い実、ノササゲの紫色の莢と中に見える黒い実、アマチャヅルの緑の実、ノブドウの青い実、エゴノキの白い実、ツルニンジンの実、ムラサキシキブの紫の実がとても美しくて楽しませてもらった。

また、クロモジやオオカメノキの可愛い冬芽も観察した。

(1)10:00 集合、挨拶後、各自準備運動を済ませた後で 10:15 小雨の中を出発⇒11:05 神戸 GC 入口

ハキダメギク（可哀そうな名前やね、可愛い花なのに）～ミズキ～ケヤマハンノキ～コウヤマキ（腐りにくいので風呂桶や棺桶に利用された）～キブシ（木の髄は燈心に利用、竹鉄砲の芯にしても遊んだよ）～イロハモミジ～ソメイヨシノのテングス病（カビの一種の糸状菌が原因）～キツリフネ（種の触発散布にびっくり）～



アオキ～シロダモ～ムラサキシキブとヤブムラサキの違い（葉の感触を感じてもらう）～コシアブラ～ヤブニッケイ～クロモジ～アキノタムラソウ～ククバヤマボクチ（葉の裏の毛を取って火を起こした）

～ゼンマイ（葉っぱからはとてもゼンマイとは思われないね）～
ムベ（1、3、5、7枚の葉っぱが見られおめでたいと喜ばれる）～
ミツバアケビ～アキグミ（赤い実を食してみる）～ナギナタコウジュ
～ニガイチゴ～ヨシノアザミ～カナクキノキ～ツチグリ



(2)11:05 神戸 GC 入口⇒11:25 ヴォーリズ六甲山荘への入口

ヒメカンアオイ（ギフチョウの食草）～カイヅカイブキ（先祖返りをしている様子を観察）～イヌツゲ
～ウメモドキ～アリマウマノスズクサ～ムベ～アマチャヅル～クロモジ～サルトリイバラ

(3)11:25 ヴォーリズ六甲山荘への入口⇒11:40 ヴォーリズ六甲山荘前（ヴォーリズの説明あり）

サンショウ～ミヤコザサ～クサイチゴ～ナガバモミジイチゴ～
クロモジ～ホツツジ～ツルウメモドキ～ツルリンドウ（花と赤い実）
～ノササゲ～シロヤマブキ～フタバアオイ



(4)11:40 ヴォーリズ六甲山荘前⇒11:55 オルゴールミュージアム前

ニワトコ～ノブドウ～ヒヨドリジョウゴ～ウラジロノキ～ツルニンジンの実～サルナシの太いツル～オ
オカメノキ～オトコヨウゾメ（葉が黒くなる）～ホツツジ

(5)11:55 オルゴールミュージアム前⇒12:30 心経岩下の広場（昼食会場）

カラスザンショウ～アオハダ～ツリバナ～エゴノキ～ムラサキシキブ～
コバノガマズミ～ホオノキ～ミヤマガマズミ（葉は無毛、葉柄が長い）
～オオモミジ～アキチョウジ～オオカメノキ（バンザイの形の冬芽）～
マユミ～マムシグサ～ウメモドキ～コハウチワカエデ～コシアブラ



(6)12:55 心経岩下広場を出発して心経岩前で中島氏から「心経岩・雲ヶ岩
・六甲比命等について」説明を受ける。その後、雨天の為安全を考慮し
階段を上るグループと回避するグループとに分かれてガーデンテラスで
合流することになる。

○階段を上って雲ヶ岩に向かったグループは、霧が降りてきて神秘的な
雰囲気味わったそうである。



○回避して歩いたグループの植物観察：13:09 心経岩下広場⇒13:30 ガーデンテラス（トイレ休憩場所）
サルナシ～ウメモドキ～ウリハダカエデ～アカショウマ～キクバヤマボクチ（枯れ姿）～イヌシデ（葉
が毛深い）～オトコヨウゾメ（赤い実と黒い葉）～アカシデ～ネコヤナギ～リンドウ～キクバヤマボク
チ（緑色）～カエデ～ホツツジ～オニノゲシ～クマイチゴ～アオミズ

(7)13:49 ガーデンテラス出発⇒14:15 神戸 GC 入口 (雨天の中、六甲縦走中の多くの方々に遭遇)
ウリハダカエデ～ワレモコウ

(8)14:15 神戸 GC 入口⇒14:30 六甲ケーブル山上駅到着、挨拶後解散



3. 感想と反省 (観察会終了後に意見を聴取)

- ・雨天の中であったが、無事に観察会を終了でき良かった。
- ・ビジターの方からも、天気が悪かったが思ったよりは良かったとの感想を頂く。
- ・ビジターお二人に説明係が沢山関わることができ良かった反面、濃厚な説明となったことで「頭がいっぱいなので後で良く復習したい」との熱心な感想も頂いた。
- ・初めて説明係を担当した面々からは、説明することに責任を感じて事前に下見や学習を繰り返したことで自分の学びが深まり良かった。しかし、先輩の補足を聴くとまだまだ知らないことが多くあることが良く分かった。
- ・ビジターの方に興味を持って聴いて頂くために時間にゆとりを持って説明したいので、集合時間を少し早めて 9:30 にした方が良かった。
- ・会話等で混乱しないようにビジターの説明班と会員説明の班は距離を開ける方が良い。
- ・ガーデンテラス～神戸 GC 入口まで、本日の六甲縦走コースと重なってしまったので次回は避けたい。
- ・今回は無事に悪天候を乗り切れたが、今後安全確保のために降水確率が高い時の中止基準を設けるべきではないか。かつ、それを定例観察会のチラシに明示して置いてはどうか。

4. 最後に

悪天候の中、観察会に参加された皆様お疲れさまでした。

人は植物に護られ、憩いを得て健やかに過ごせるもの。ケーブルで 10 分登れば都会の直ぐそばで六甲山という豊かな自然に出会え、恵まれている幸せを感じます。これからも六甲山地の自然の素晴らしさを伝えていきたいものです。

文責 龍田